

夏休み期間は
常入寺子ども月間

お寺のものがお参りに来たとき、
中学生以下の子とも達がいつしよにお参りをした
ら、ごほうびをあげるよ！

今年も常入寺では子ども月間を開催します。
お寺のものがお参りに来たとき、
中学生以下の子とも達がいつしよにお参りをした
ら、ごほうびをあげるよ！

ごほうびといってもたいしたものではないけど、
園船と文具をあげます。
この機会に仏様の前に座っていつしよにお参りしま
せんか？
みんなが仏様にお参りするとお坊さんも、そして仏
様もうれしくなります。



ごほうびなん
だより

悲しみは消えないままでいい

それまで自分のすべて
だった世界が、ある日突
然、足元から崩れ落ちてし
まう。大切なものを失う
とは、まさに身を引き裂
かれるような出来事です。
ぽつかりと空いた大きな空
白を前に、私たちはただ
立ち尽くすしかありませ
ん。「前を向こう」なんて
言葉は今の傷口にはあまり
にも冷たく、遠くの出来事
のように響くだけです。今
はただ、胸の奥がじりじり
と焼けるように痛む。涙が
枯れるほどに苦しい。その
暗闇の底で、一人震えてい
るのが精一杯のはずです。
「失ったからこそ、気づ
かされるものもある」
この言葉は、決して「悲
しみは消えないままでいい
に素晴らし
い気づきが得られる」と
いうような、安易なもの
ではありません。心が完
全に閉ざされているとき
には、どんな慰めも届か
ず、何も見えないこと
の方がむしろ自然です。
けれど、ただただ悲し
みと共に佇み、長い時間
をかけてその痛みに馴染
んでいったその先に、ふ
と、本当に「そういうこと
もある」としか言えないよ
うな、静かな瞬間が訪れ
ることがあります。それ
は、失った存在が遺してく
れた、今も胸の奥で光り続
ける優しさ。その存在が消
え去ったのち、皮肉にもそ
の「不在の大きさ」によつ
(続きは裏面に)

今月のことば

失ったことの悲しみは深い
それでも
失ったからこそ
気づかされるものもある

秋季彼岸会 **お寺 DE アコギライブ**

日時 9月27日(日)午後1時30分より3時30分まで

講題 声を聴くということ

お説教(歌) 鈴木君代さん(シンガー・浄土真宗僧侶)

参加費 無料(ただし、お費銭(100円から1000円)のご協力を無理のない程度でお願いします)

京都のライブハウスで活躍される鈴木さん。約30年前に初めてお寺で歌われたのが当寺でした。久しぶりのお越しをお楽しみに。

お一人で静かに、あるいはご家族の皆さまで、どうぞゆっくりお読みください。

(表面からの続き)

て、かつてどれほど深い愛を注がれていたのかに、ある日ふと気づかされる。そして同時に、今、私の周りにいる人たちの不器用な優しさが、かすかに目に映るようになる。言葉にならない私の沈黙を、ただ一緒に座って待つてくれた

常入寺ウェブサイトリニューアル



常入寺のウェブサイト（ホームページ）をリニューアルしました。特にスマートフォンから見やすいようにというのを意識して組み直しました。言うまでもなくパソコンからでも今まで通り見る事ができます。よろしければのぞきにきて下さい。左側のQRコードをスマホで読み込むか、「ごぼはん 常入寺」と検索下さい



人の眼差し。「何かできることはないか」と遠くから心を寄せてくれる気遣い。それらは、自分が満たされているときには、あまりにも当たり前すぎて見落としていたものでした。

必ずしも、すぐに前を向けるわけではありません。何も見えない暗闇が続くこ

年期早見表を新設

リニューアルに伴い今年は何回期にあたるのか、次の年期法要いつなのかということがひとめでわかる計算ツールのあるページを新設しました。よろしければご利用ください。



「年忌表 ごぼはん」と検索いただくか左側のQRコードをスマートフォンから読み取ってください

とどつてあります。けれど、失った悲しみは消えないまま、胸の傷口が開いたままだからこそ、そこから先立つた人の愛と、今支えてくれる人の温もりという二つの優しさが、じんわりと染み込んでくる「こともある」。そのかすかな光を頼りに、私たちはたくさん静かに、これからの人生を歩み始めるのです。



お盆参りいたします

ご要望があればお盆にお墓にてお勤めをさせていただきます。お気軽にお電話などでも申し入れください。急に言われても対応できないことがありますが、ご希望の日時がございましたら、できるだけ早めにご連絡いただけますと幸いです。

常入寺 文庫

が開設されています。

絵本を中心として150冊くらいしか蔵書のない小さな図書館(?)です。東本願寺より絵本を100冊プレゼントされたことから始まります。

常入寺文庫はどなたでもご利用いただけます。午前7時から午後5時くらいまでご利用いただけます。本堂の入り口よりお入りください。入って右側に本棚があります。お寺のものに声をかける必要はありません。お自由にどうぞ！



発行 真宗大谷派 常入寺

電話 930-0161 富山市東老田787
住職携帯 (076) 436-0816
発行責任 青井 和成
090-3764-3983



LINEはこちらから↓
お参りの変更
法事の相談
その他
こちらからでもできます



【あとがき】6月の初め、不整脈を治すためアブレキシオン治療を受けました。あれからもうすぐ二か月になります。おかげさまで少しずつ体力も戻り、不思議といろんなことがしたくなっています。以前より元気に動けるようになり、自分でも回復を実感しています。❤️治療前には数人の方から体を心配していただきましたが、あの頃と比べると本当に元氣になりました。そして、健康でいられること、ありがたさを改めて感じる毎日です。♠️それにしても今年の暑さは本当に厳しいですね。私も心臓に無理がかからないよう気をつけたと思います。どうぞ皆様も無理をなさらず、水分や休息を十分にとりながら、この夏を過ごしてください。◆また9月には彼岸会をお勤めいたします。お寺で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

